



読んで 食べる 展示リスト



展示の本からいくつかをご紹介します

【食べる物語】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
エッグマン	辻仁成／著	朝日新聞出版	2017	103217364	X913.6/ツ
オムライス、親子丼、ティラミス、エッグベネディクト…。風変わりな元料理人の作る1品が、食欲とこころを満たしていく物語です。					
ランチのアッコちゃん	柚木麻子／著	双葉社	2013	101864967	X913.6/1
上司と一週間のランチを交換した主人公。主人公が提供するの手作りのお弁当、上司が提供するのランチコース…？読むと、元気が出る一冊。					
和菓子のアン	坂木司／著	光文社	2010	101115015	X913.6/セ
和菓子屋で働き始めた主人公は個性的な同僚に困まれながら、和菓子の魅力に目覚めていきます。謎めいたお客さんたちの行動の理由を推理する、いわゆる「日常の謎」系のミステリーを楽しみながら、和菓子にも詳しくなれます。					

【食べるにまつわる書物】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
ひと皿の小説案内 主人公たちが食べた50の食事	ディナ・フリード／著	マール社	2015	102446246	902.3/フ
「白鯨」「不思議の国のアリス」など古今の名作の印象に残る料理を、実際に写真で再現しています。邦訳書リストつきなので、文学案内としても利用できます。					
中世ヨーロッパのレシピ	コストマリー事務局／著	新紀元社	2018	103595376	383.8/チ
貴族の食事、果実を使ったスイーツ、修道院料理…。物語に出てくるような中世ヨーロッパ料理のレシピ本。身近にある食材で、実際に作れるようになっています。					
食卓を変えた植物学者	ダニエル・ストーン／著	築地書館	2021	104027005	289.3/フ
食の貧しい国であったアメリカに、アボガド、マンゴー、レモンといった様々な植物を持ち込んだ植物学者の生涯を描いています。どの食材も最初から食卓にあったわけではないという当たり前のことを教えてください。					

【シリーズ】

食がテーマの小説はたくさんありますが、その中でシリーズとなっているものもたくさんあります。その中から一部をご紹介します。（各シリーズ1巻目のみ紹介）

シリーズ名	資料名（1巻目）	著者	出版社	出版年	請求記号
料理人季蔵捕物控	雛の鮫	和田はつ子／著	角川春樹事務所	2007	B913.6/ワ
元武士の料理人季蔵は、刀を包丁にかえ5年。日本橋にある料理屋「塩梅屋」の使用人として働いていた季蔵が、様々な事件に立ち向かうお話です。					
お勝手のあん	お勝手のあん	柴田よしき／著	角川春樹事務所	2019	B913.6/シ
品川宿の老舗宿屋「紅屋」を営む吉次郎が、その類いまれな嗅覚の才に気づき、お勝手女中見習いとなったおやす。ひとつひとつの素材や料理に心を込め、おやすが一生懸命成長していく物語です。					
南蛮おたね夢料理	ようこそ夢屋へ	倉阪鬼一郎／著	光文社	2015	B913.6/ウ
安政の大地震からふた月。芝の伊皿子坂に新たなのれんを掛けた見世「夢屋」があった。夢屋のおかみ・おたねの人情と料理のぬくもりが胸に沁み入るお話です。					
最後の晩ごはん	ふるさととだし 巻き卵	榎野道流／著	KADOKAWA	2014	B913.6/フ
ねっ造スキャンダルで活動休止に追い込まれた、若手イケメン俳優の五十嵐海里。行くあてもなく絶望していた彼は、夜に開店し、始発が走る頃に閉店する不思議な定食屋「ばんめし屋」の夏神留二に拾われ、そこで働くことに…。人の優しさとごはんのおいしさに救われる、そんな物語です。					